

三重県神社庁 「季節たより」

令和6年
秋号

9月15日発行



神様の衣替え

ほのかにひんやりと吹く風が肌にしみ、木々の葉も鮮やかに色づき始め、秋の訪れを感じる季節になってきました。秋は季節の変わり目であり、衣替えをされる方も多いでしょう。

実は神様にも衣替えがあることをご存じでしょうか。私たちが衣替えをおこなう時期と同様に五月と十月に伊勢の神宮では、神様がお召しになる「神御衣」を新たにお造りし、古いものと取り替える神御衣祭（更衣祭）と呼ばれるお祭りがおこなわれます。

神御衣祭は神宮の祭祀の中でも古い由緒を持つお祭りです。皇大神宮と荒祭宮へ和妙と呼ばれる絹と荒妙と呼ばれる麻を反物の形で、御糸、御針などの御料とともに奉っています。毎年欠かさず、神々に新たな神御衣を奉る姿には、さらなる神威の発揚を期待する人々の願いが込められているように感じられます。

更衣祭は神宮だけではなく熱田神宮や賀茂御祖神社、太宰府天満宮など全国各地の神社でおこなわれます。皆様方には、このような季節のお祭りを通して、秋の訪れを実感していただくとともに、私たちの生活と神道には古くから関わりがあることに注目していただければと思います。



二十四節気について「立冬」十二月七日

一年の太陽の動きを二十四等分し、相応する名称を付したものを「二十四節気」といい、そのなかで、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」のことを「四立」といいます。立冬は冬の始まりとされる日で、次第に気温が下がり冬の気配を感じられるようになりますが、言い換えれば秋の極みともいえます、紅葉が美しい時期でもあります。また、木枯らしが吹き、早いところでは初雪が降り始めることもあります。



お酒について

お酒は神前にお供えする神饌の中でも、お米から直接造られるため、特に重要なものとして考えられています。神事に見られるお酒は単なる嗜好品ではなく、神様にお供えた「御神酒」を私たちがいただくことにより、神様と人々はもとより、人と人とを結び付けてくれる役割を果たしてきました。このように神様とお酒は深い関係にあります。



神社の豆知識

お稲荷様

皆様は稲荷神社にお参りした際、狐像が何か口にくわえている姿を見たことはありませんか。

各地では氏神の神社や祠、各家の屋敷神としてお稲荷様が祀られています。お稲荷様は食物の神様としても知られています。それは稲荷神社の御祭神(ウカノミタマノカミ)やオオゲツヒメノカミ、豊受大神などが五穀や食物を司る神様として祀られていることから農耕神、穀霊神としての御神格があるからです。その由来からお稲荷様の使いとされる狐を表した像が穀霊を象徴する玉や、稲束を刈る鎌をくわえています。また、穀物を納める米蔵の鍵をくわえている狐像もありますが、それは穀霊神であるのと同様に家財を守る神、家内安全の神であることに由来しています。



神社からのお願い

参拝者の中には高齢のかたや基礎疾患をお持ちのかたもいらっしゃるかと思いますので、引き続き職員がマスクを着用している神社もあります。ご理解下さいますようお願い致します。また、清々しい気持ちで神社にお参りして戴くために、皆様におかれましてはご協力いただきませうようお願い申し上げます。



神社や神道について詳しくはこちらのQRコードからご覧ください。



三重県神社庁
ホームページ



神社本庁
ホームページ



三重県神社庁
Instagram



三重県神社庁
YouTube

三重県内各神社では、家内安全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。

いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。
ご祈願についてのお問合せは、三重県内の各神社までお願い致します。